

彩雲

S
A
I
U
N

【彩雲(さいうん)】とは、縁などが美しく色づいた雲を言います。日光が雲の水滴で回折するために生じるもので、昔からよいことの起こる吉兆の雲とされています。

VOL. **11** 【平成26年9月】

矢吹病院の基本理念・基本方針

基本理念

仁愛・誠意・献身

～思いやりと真心で患者さんに尽くします～

七つの基本方針

精神保健福祉法を遵守し、私たちは

1. 患者さんの人権に配慮し、癒しと回復の場を提供します。
2. 情報の共有と相互の理解のもと、効果的で適切な医療を提供します。
3. 患者さんの社会復帰の促進を図り、家庭や地域での生活を支援します。
4. 公的責務を自覚し、救急や治療困難な患者さんの受け入れに努めます。
5. 積極的に関連機関と連携し、広く地域精神保健活動に取り組みます。
6. 透明かつ適正な運営により、県民の理解と信頼を得られるよう努めます。
7. 明るく働きがいのある職場をつくり、真の「こころの治療」を追求します。



【写真】「患者作品」
患者様のリハビリの一環として、また療養の糧及び地域に根ざした活動として、当院で製作した作品です。

4年目



病院長 横山 昇

東日本大震災と原発事故から早くも3年の歳月が流れ、4年目も既に半ばを過ぎてしまいました。「茨の中にも三年」と言いますが、この3年間ずっと艱難辛苦に耐え辛抱の限りを尽くしてきた避難者の方々は、果たして目的を達することができたのでしょうか。故郷を追われ、職を失い、家族が離散する状況で、苦勞の甲斐あって何らかの成功を収めることができた人が如何ほどいるのでしょうか。2ヶ月前、原子力規制委員会は新規制基準による審査で九電川内原発の再稼働にゴーサインを出しました。我が国の原発関係者にとってはまさに「石の上にも三年」の朗報だったことでしょうか、福島県民とりわけ避難者の方々の想いと対比させれば皮肉な現実としか言いようがありません。

内閣府は6月、『福島県の震災に関連する自殺者数は、2011年が10人、12年が13人、13年が23人。同じ被災県の、岩手、宮城と比較しても、福島県の増加傾向は顕著である』と発表しました。蟻塚亮二先生（メンタルクリニックなごみ院長；相馬市）は、その背景として「家があるのに原発事故のために帰れない」という曖昧な喪失の存在を指摘しています。今回の原発事故が明確な喪失体験をもたらしていれば、県民はもっと上手に回復過程を迎えたのかも知れません。加えて、「人の痛いのは三年でも辛抱する」的な為政者の姿勢が「舎を道傍に作れば三年にしてならず」という当然の結果を招き、「禍も三年たてば用に立つ」ことを信じられなくなるほど人々を追い詰めてしまったのかも知れません。

「三年飛ばず鳴かず」で耐えてきた避難者たちの次の3年が始まりました。「三年たてば三つになる」ことを信じ、いつの日か天高く飛び立ち、鳴いて必ず人を驚かす存在になってほしいと心から願ってやみません。

福島県立矢吹病院

● 第2回福島県立矢吹病院まつり

第1回の昨年に続き、矢吹病院まつりを平成26年10月19日（日）に開催致します。

地域に根ざした病院づくりを掲げ、精神医療保健の啓発啓蒙を目的として開催した昨年は、多くの参加を頂きました。今年はさらに会場を拡大し、玄関前の駐車場のみならず、院内にもブースを設ける予定であります。

内容としては、病院の紹介やこころの健康相談、薬や栄養の相談のほか、お子さん方を対象とした院内探検ツアーやスタンプラリーを企画しています。昨年好評だったバザー、無料のわたあめやポップコーン、芋煮などを準備し、販売コーナーでは「こころや」の商品などをお出しする予定です。

さらに今年はチームキビタンのほか、町内の団体の協力を得て、「北陵太鼓」、「矢吹小学校吹奏楽」、よさこいチーム「四季彩舞」、「フラすみれクラブ」など出演頂き、催し盛り沢山の企画を予定しております。

病院職員手作りの当院キャラクターには、まだ名前がありません。まつり当日に名前を募集し決めてしまう企画では豪華賞品も用意しておりますので、ぜひご参加頂ければと思います。あとはお天気の心配だけです。たくさんの方々のお越しをお待ちしております。



僕に名前を付けてね！

認定看護師の紹介

矢吹病院では平成26年度より2名の精神科認定看護師が誕生しました。

認定看護師は同じ精神科看護師でも専門分野について更に1年間をかけ勉強し、その分野のスペシャリストとして認定されたものです。

今後、当院の医療の質の向上に寄与するため、専門領域について主導的立場で業務に関わり、他の看護師に対しても教育・指導などを行います。

■精神科認定看護師 行動制限最小化領域 安田 義光

行動制限最小化領域での活動では、精神保健福祉法に則った対応がきちんとされているか、間違った行動制限がされていないかなど、患者様の人権を尊重した対応になっているかを監視する役目を担っています。

■精神科認定看護師 精神科薬物療法看護領域 高橋真貴子

精神科薬物療法看護では薬物に関する情報を提供したり、薬物による副作用を可能な限り回避できるような取り組みなど、患者様に不利益とならないような薬物療法での看護を推進する役割を担っています。



外来だより(内科編)

from
Out Patient Department

～病院の顔として～

外来は「病院の顔」といわれています。来院された方が、気持ちよく診察が受けられるようにをモットーにしております。新患・再来ともに、当日の受付となっております。尚、受付の際は「内科の診察です」と、お伝え下さい。

| | |
|----------------|------------------|
| 診療時間の案内 | 月曜日～金曜日(祝祭日は休み) |
| | 午前 9:00 ～ 12:00 |
| | 午後 13:00 ～ 16:30 |



ご不明の点は、お気軽に声をかけて下さい。

出前講座受付中 ～今のところ矢吹町内限定ですが～

平成25年度から、矢吹町内限定ですが、「こころの出前講座」を開始しました。

現在、メニューは17項目を準備しています。「こころ」に関するものを中心に、精神科の医師、看護師、作業療法士、臨床心理士が講座を担当いたします。

その他に、矢吹病院には内科外来があり、消化器の専門の立場から、内視鏡の講座を開設しています。また、これからのインフルエンザの季節を前に、検査室では「手洗い教室」を用意しております。お子様からお年寄りまで感染予防の基本的な「手洗い」について、実践を交えた講義をご用意しています。皆様のご利用をお待ちしております。



花いっぱい運動継続中

当院では、3年前から、規模は小さいのですが、花いっぱい運動を行っています。病院への進入路脇を花で飾り、来院する方をお迎えしたい、ということから始めたものです。今年は、道路脇の花が、夏の暑さで枯れてしまうものも多く出てしまいました。

病院周辺の庭には、数十種類のバラが植えられています。花もきれいに咲きそろようになり、ちょっとしたバラの名所といった感じになってきています。当院は里山の中に位置し、近くには矢吹町の史跡の1つである三十三観音もあります。地区では「桃源郷づくり」構想をもっています。病院も微力ながら、協力していきたいと思っております。

音もあります。地区では「桃源郷づくり」構想をもっています。病院も微力ながら、協力していきたいと思っております。



栄養管理だより

from
Nutrition Support Service

～おいしい病院食レシピ～

日本人はカルシウムが不足しているといわれています。骨のカルシウム量は歳をとるにつれて減っていくので、食事から十分なカルシウムを摂らないと骨粗鬆症になる危険が高くなってしまいます。そこで今回は、カルシウムを豊富に含んだ食材である生揚げを使った中華炒めを紹介します。

【材料 2人分】

| | | | |
|-------|----------|-------|-----------|
| ・生揚げ | 80g (2枚) | ・にんにく | 1かけ |
| ・ピーマン | 1個 | ・しょうが | 1かけ |
| ・人参 | 1/6本 | A { | 酒 大さじ1 |
| ・しいたけ | 2枚 | | 砂糖 小さじ2 |
| ・ごま油 | 小さじ2 | | みそ 大さじ1/2 |

【作り方】

- ①生揚げは1cm幅に切る
- ②人参、ピーマンは5mm程度の細切りにする
- ③しいたけはいしづきを取り、薄切りにする
- ④にんにくとしょうがはみじん切りにする
- ⑤フライパンにごま油を入れて火にかけ、にんにくとしょうがを炒める

- ⑥香りが出てきたら、ピーマン・人参・しいたけを入れてさらに炒める
- ⑦火が通ったら生揚げを入れ、さらにAを加えて全体をさっと混ぜる



【ポイント】

火にかける時間が長いと水っぽくなってしまいますので、強火でさっと炒めましょう。

【一人分の栄養価】

エネルギー130Kcal、タンパク質5.8g、脂質7.9g、塩分0.7g、カルシウム110mg

しいたけに多く含まれているビタミンDはカルシウムの吸収を助ける働きがあるので、カルシウムを含んだ食材と一緒に摂るとより効果的です。ビタミンDはしいたけだけでなく他のきのこにも多く含まれています。

| 科別 | 氏名 | 職名 | 専門分野 |
|-----|-------|-----|-------------------------|
| 精神科 | 横山 昇 | 病院長 | 精神科一般 |
| | 佐藤 浩司 | 副院長 | 精神科一般 |
| | 山田 康人 | 科部長 | 精神科一般 |
| | 金澤 壮一 | 科長 | 精神科一般、児童思春期、発達障害(成人を含む) |
| | 石川 大道 | 科長 | 精神科一般、児童思春期、発達障害(成人を含む) |
| | 小林 秀孝 | 医員 | 精神科一般 |
| 内科 | 宗像 修 | 副院長 | 消化器内科 |

外来診療のご案内

● 外来受付・診療時間

| 診療科 | 受付時間 | | 診療時間 | |
|-------------|------------|-------------|---|--|
| | 午前診療分 | 午後診療分 | 午前診療分 | 午後診療分 |
| 精神科一般 内科 | 8:30~11:00 | 13:00~15:00 | 9:00~11:30 | 13:00~15:30 |
| 児童思春期 外来 | 全て予約制 | | 9:00~11:30 (水曜日・金曜日) (第3土曜日) <small>※水曜日・金曜日は月各1回の診療</small> | 13:00~16:30 (木曜日) (水曜日・金曜日、第3土曜日の一部) |

● 診療日

精神科一般及び内科 精神科一般及び内科 精神科一般及び内科
 児童思春期外来 児童思春期外来 児童思春期外来
 ~月曜日から金曜日(祝日を除く。)
 ~水曜日・金曜日(月各1回)(県立医大派遣医師)
 木曜日(当院常勤医師)
 第3土曜日(応援医師)
 (※休診や診療日変更の場合がありますので、予約の際にご確認をお願いします。)

● 予約診療について

☆ 精神科一般 新患 ~予約が必要です。
※新患の診察は、月曜日から金曜日の午前中のみ。
 ☆ 精神科一般 再診 ~午後の診察について予約の受付を行っています。
 ☆ 児童思春期外来 ~全て予約が必要です。

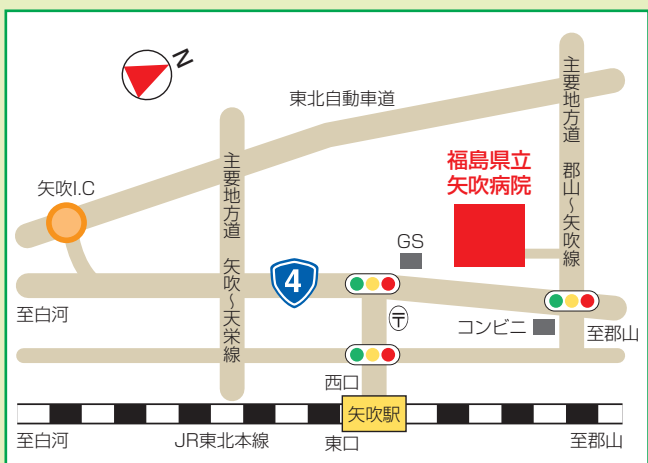
【予約受付時間】 8:30~12:00 13:00~17:00(月曜日から金曜日)

※担当医の診察日については、当院のホームページをご覧ください。
 代診・休診についても、ホームページでお知らせしております。

交通のご案内

● JR矢吹駅より徒歩20分。JR矢吹駅(西口)と当院を結ぶ送迎バスも運行しております。

<送迎バス時刻表>



| 迎え | JR矢吹駅 → 矢吹病院 |
|----|--------------|
| 1便 | 8:10発 |
| 2便 | 8:40発 |
| 3便 | 9:45発 |

| 送り | 矢吹病院 → JR矢吹駅 |
|----|--------------|
| 1便 | 9:25発 |
| 2便 | 10:50発 |
| 3便 | 11:20発 |
| 4便 | 14:30発 |
| 5便 | 15:25発 |

※病院正面玄関前からご乗車できます。

発行 ● 福島県立矢吹病院

〒969-0284 福島県西白河郡矢吹町滝八幡100 TEL0248-42-3111 FAX0248-44-2551

ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/25140a>